

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 5月17日放送分 企業再生への道～文具メーカーの新たな旅立ち～

## 5月17日放送分 企業再生への道～文具メーカーの新たな旅立ち～

5月17日(TX・TVO・TSC)

18日(TVA・TVH・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

19日(BSJ)

東京都の事務機器(ステープラー)の開発を行っている(株)イートップ(資本金5,750万円、従業員6名)の海老原会長は、自ら起業した企業の倒産を乗り越え、同社を設立した。倒産という失敗の経験を活かして新たな事業展開を目指している。「倒産＝終わり」ではなく、再出発としてとらえ、新たな挑戦をしている経営者を紹介する。

### 企業再生への道

～文具メーカーの新たな旅立ち～

[視聴覚教材No. TV15-7](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



東京・荻窪へやってきた志垣さん。なんだか冴えない表情。最近の日本経済の低迷が心配な様子。

2003年版の中小企業白書のテーマは「再生と起業家社会への道」。今日は、一度倒産しながらも、再生を果たした会社を訪ねる！



こちらが会社を再生させた株式会社イート



ップの海老原会長。海老原会長はどのようにして企業再生を果たしたのか？志垣さんがその要因を探る。

イートトップのメイン商品はこのホッチキス（ステープラー）。



厚さに合わせて針を使い分け、最大70枚までらくらくと綴じることができるこのホッチキスには、本体からホッチキス針にいたるまで特許機構やノウハウがぎっしりと詰まっている。これが海老原会長がメイド・イン・ジャパン（＝優れた製品）にこだわった成果。

POINT: メイド・イン・ジャパンを世界に広げよう



日本の優れた中小企業の力を結集させて、優れた製品を世界に送り出したいと語る海老原会長。安価な製品でないと市場が受け付けないと思われているが、あるバイヤーからは、多少高くても他から買えないホッチキスの開発を求められたという。

POINT: 高くても良いから他にない商品

を！



海老原会長のこだわりの一端を見てみる。これはホッチキス針を曲げる部品。溝の部分がつるつるしている程性能が良い。徹底して品質にこだわり、お客様に感動を与える製品が、メイド・イン・ジャパンの製品だと訴えたいと語る海老原会長。

POINT: text

お客様に感動を！



「ホッチキスなら豊かになれる。」一度倒産しながらも海老原会長はホッチキスにこだわり、徹底的にホッチキスの分野を掘り下げた。

POINT: 得意な商品を徹底的に掘り下げる



海老原会長が大手文具メーカーから独立してホッチキス製造・販売会社を立ち上げたのは1975年。米政府の受注も受ける程、優れた性能で、売れに売れたという。その勢いに乗って設備投資をした時に遭遇したのが第一次円高。





急激な円高により倒産の危機が訪れた時、商法の会社整理を申請。債権者の同意・協力を得て、粘り強く事業を続け、15年かけて借金を返済した。



エムケーディーの増田社長は、親子二代にわたり、債権者として海老原会長に協力。優れた製品と海老原会長の情熱に、「一緒に頑張っていこうと素直に思えた」という。

現在、イトップは瀧波社長(左)が経営を担当し、開発に専念する海老原会長を支えている。「製造、販売をそれぞれ専門の会社に任せ、当社は開発設計に専念する」これが瀧波社長の経営方針。



志垣さんに会社が再生できた理由を尋ねられて「夢と志」と答えた海老原会長。イトップは、具体的な夢と志に従って行動を起こした海老原会長とそんな海老原会長を支える社員がいる会社であった。

POINT: 夢と志



[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN